

マイクロツーリズム 当館の取り組み (温泉編)

「千葉県のイメージといえば？」と調べると、「落花生」「東京ディズニーリゾート」「海」「千葉ロッテ」などなど、多くの資源があるため様々な回答が見受けられます。そんな中、千葉県といえば「温泉」とイメージする方には、ほとんどお会いしたことがありません。

しかし実は、千葉県は温泉地数が全国第9位（91ヵ所）という温泉地数が多い都道府県なんです。知っていましたか？（出典元：[令和元年度温泉利用状況（環境省）](#)）

当館においても温泉に力を入れており、鴨川温泉「なぎさの湯」を湛えた趣向を凝らした湯船で、ゆらり、心ゆくまで湯三昧。たった6室のお宿ですが、浴槽の数は全部で5つという贅沢さ。お風呂は男女入替制・24時間入浴可能（清掃時間除く）ですので、ゆったりと湯めぐりをご堪能いただけます。

コロナ禍で、【新しい生活様式】【マイクロツーリズム】という新たな旅行スタイルが提唱される中、温泉旅行を目的としたお客様には、ぜひ当館の温泉を味わっていただきたいです

■ マイクロツーリズムとは

遠方や海外への旅行に対し、3密を避けながら地元の方が近場で過ごす旅のスタイル。自宅から1～2時間程の距離で、安心、安全に過ごしながら地域の魅力を深く知るきっかけになり、地域経済にも貢献します。保養目的で旅館やホテルに行き、温泉や自然散策、料理を楽しみ、活力を取り戻す滞在旅行です。

（出典元：星野リゾートの「マイクロツーリズム」ご近所旅行のススメ）

【新しい生活様式】

当館の取り組み（客室・コロナウイルス対策編）

新しい生活様式が叫ばれて久しいですが、今回は当館の客室についてご紹介したいと思います。
楽天トラベルによると、

Q：宿泊を伴う出張や旅行時にどのような条件で ホテル・旅館を選ぼうとお考えですか？

- ①衛生管理が行き届いていることがわかる
- ②コロナウイルス感染症対策をしている、安心安全
- ③人が密集しない、広々とした空間がある

（出典元：楽天トラベル「安心な旅を楽しもう」）

という調査結果が出ており、楽天トラベルの宿泊施設ページには、安心なホテル・宿探しのために、新型コロナウイルス感染症への対策をお知らせする機能が追加されています。

新型コロナウイルス対策について



スタッフ対策

- ・手洗い・うがい・マスク着用
- ・定期検温を実施
- ・お客様との距離を意識した接客
- ・団体を避けた個別の送迎実施



除菌対応

- ・定期的な館内（料飲エリア）の除菌清掃
- ・定期的な館内共用部分の除菌清掃
- ・客室の除菌清掃
- ・客室スリッパの除菌清掃



換気対応

- ・定期的な館内（料飲エリア）の換気
- ・定期的な館内共用部分の換気
- ・客室ご利用前後の換気



チェックイン・ アウト対応

- ・お客様同士の距離を意識した整列・誘導
- ・お部屋でチェックイン可能



客室対応

- ・消毒液の設置
- ・空気清浄機の設置
- ・備品を都度、除菌清掃



食事対応

- ・提供・配膳方法を工夫（個別配膳等）
- ・部屋食・個室食事に対応



お風呂場対応

- ・消毒液の設置
- ・浴場内備品の除菌清掃
- ・浴場の混雑状況の管理と分散化



宿泊者へのお願い

- ・来館時の消毒のお願い
- ・客室の外でのマスク着用のお願い



緊急時対応準備

- ・緊急時対応のマニュアルを整備

特に客室においては、全室UV加湿ストリーマ空気清浄機を設置しており、安心してご利用いただけます。

新しい生活様式、マイクロツーリズム（近場での旅行）を意識されるお客様、気になる点がございましたら、当館までお問い合わせいただければと思います。



【マイクロツーリズム】 当館の取り組み (地元の魅力再発見 観光資源編)

当館の【マイクロツーリズム】への取り組みの一つに、鴨川市を関東最大級の「梅の里」にする吉保梅の里事業との連携がございます。吉保梅の里事業とは、平成26年から千葉県鴨川市長狭地区に、鴨川市の観光産業、農業、商業の発展と、地域全体の活性化のため、南高梅を中心に約5,000本の苗木を植栽し、観光梅園づくりを行っているものです。鴨川市といえば、鴨川シーワールド、大山千枚田、誕生寺、鯛の浦、などが有名ですが、近隣の方にとっても『梅』というイメージはまだ浸透していないかもしれません。当館では、吉保梅の里事業との連携により、自家製の梅ジュースの製造を行い、アルコールがダメな方や子供の食前酒の変わりに提供します。

【マイクロツーリズム】とはただ近場に旅行する事だけでなく、地元の魅力を再発見することも、ポイントの一つです。気になる方はぜひこちらをご覧ください。



【マイクロツーリズム】当館の取り組み (地元の魅力再発見 伝統文化編) 皆様は「萬祝」をご存じでしょうか？

当館に入ると、昭和28年に造られた伝承の萬祝半纏が玄関を彩っています。先代の兄「龍光丸」より贈られた反物を半纏にしたものです。こちらは当館より100M程の所で萬祝を造られている「鈴染」さんの作品です

『萬祝の歴史』

萬祝の発祥の地は千葉県房総半島と考えられており、1800年頃より萬祝の着物を作る風習が始まりました。もともとは【萬祝】とは大漁祝いのことであつたが、それが次第に船主が大漁祝の際に配る着物を指すようになりました。当時は着物と言っても配られたのは反物であり、それを長着や半纏に仕立て、お祝いの時に祝い着としてみんな揃って着ていました。

この風習は主に太平洋沿岸に広く普及し、北は青森・南は静岡まで普及していました。しかし、昭和30年代を境に大漁の際に萬祝を配ることや着ることも少なくなり、今ではお祝いの際に実用品や現金を配るようになっていった。

(出典元：鴨川萬祝染 鈴染 -MAI WAI SUZUSEN - 萬祝の歴史)

そして現在萬祝の技法を受け継いでいるのは、日本全国をみても鴨川市に2軒のみで、いずれも千葉県指定伝統的工芸品に選定されています。

このように今までは地元で当たり前目にしていたものも調べてみると、すごい伝統文化であるということに気づきかされる、これが【マイクロツーリズム】の魅力ですね。

当館へお越しの際は、ぜひ「鈴染」さんにお立ち寄りしてみては。